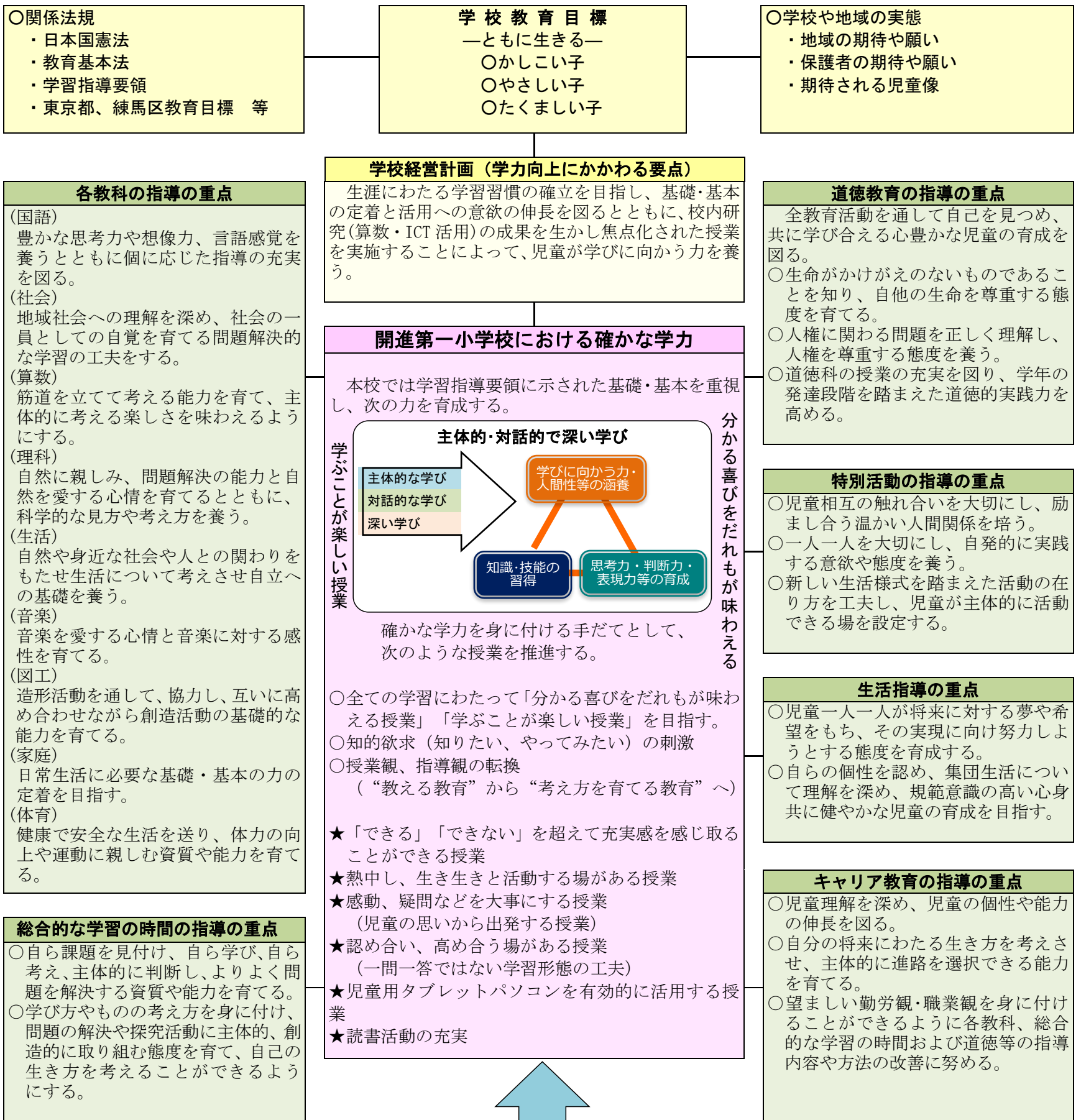


令和4年度 学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ○「読み解く力（取り出す力・読み取る力・解決する力）」に重点を置き、学力の向上を図る。 ○発展的な学習・補足的な学習の開発をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1、2年生の算数におけるTT指導、3～6年生の算数における習熟度別指導を行う。 ○全学年特色ある教育活動の継続・発展をする。 ○土曜授業の有効活用をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の考えを効果的に取り入れ自分の考えを深められる児童の育成を目指す、授業改善を図る。 ○授業実践を中心に個々の指導力を高める研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個のよさや伸びの評価（画一的でない評価の物差しを用意）を行う。 ○評価したら指導に生かす評価活動のサイクルを重視する。 ○学校評議員等、外部指導を生かした改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者の意見や関係者評価などを授業改善に活用する。 ○道徳授業地区公開講座を2回に分け、インターネット等も活用しながら実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○9年間を見通し、地域で一丸となって心身の健全育成を図り、子供たちが授業に臨む姿勢の素地を養う。